

2016 年度

システム理工学部 教職部会

# 自己点検・評価報告書

## 第4章 教育内容・方法・成果

### 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成、実施方針

#### (1) 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。

##### 評価の視点

- 教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示
- 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示

##### 1. 現状の説明

システム理工学部の専門教育を生かし、人間形成の幅広い教養と視点の獲得を目指すことを教育目標としている。具体的には、人間の成長や発達、教育の歴史や社会との関わり、また教科の内容や指導法の理論・技能、教職の実践的な知識や技術などについて系統的に学修することとしている。本学においては、上記の目的にそった教職課程を編成し、文部科学省の課程認定を受けている。実施方針や各教科の免許取得に必要な履修科目の一覧（科目区分、必修・選択の別、単位区分）については、学生に配布している「学修の手引」に掲載されている。

##### 2. 点検・評価

###### ① 効果が上がっている事項

教職課程を志望する学生の多くは、学修の手引を参照し適切な履修登録を行っている。また2学年以降では、3月の教職ガイダンスにおける配布資料をもとに、教職カルテに単位取得科目を記入していくことで、現在の履修状況を確認できるようにしている。

###### ② 改善すべき事項

学生への周知を確実にするために教職ガイダンスのあり方について検討を進めている。

##### 3. 将来に向けた発展方策

###### ① 効果が上がっている事項

教職カルテを電子化し、入力内容を学生と教員とがともに確認できるようにした。実際の指導場面における活用をさらに充実させたい。

###### ② 改善すべき事項

学生の使用状況をふまえた教職カルテの継続的な改善を計画している。

##### 4. 根拠資料

- 2016年度 学修の手引
- SIT STATION内 TALENT 教職カルテ

#### (2) 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、

大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。

##### 評価の視点

- 周知方法と有効性
- 社会への公表方法

##### 1. 現状の説明

学生たちが学習を計画的にすすめていくために、履修の仕方についても各種の資料を提供している。学生に配布している「学修の手引」に加え、新入生教職ガイダンスにおいても、モデルとなる履修計画を配布資料にて示している。また教職課程（教育職員免許）に関する情報は、芝浦工業大学のホームページや大学案内パンフレットにおいて掲載している。

## 2. 点検・評価

### ① 効果が上がっている事項

毎年4月には、学年別に教職ガイダンスを開催して、履修状況について確認するとともに、各年次ですすめられる教職関係行事に対する心構えを形成するよう促している。

### ② 改善すべき事項

芝浦工業大学のホームページや大学案内パンフレットにおける情報の更新が不連続に行われている。

## 3. 将来に向けた発展方策

### ① 効果が上がっている事項

現在、専任教員と教職担当職員で運営している教職関係行事において、外部講師や併設校教員との連携をすすめている。

### ② 改善すべき事項

芝浦工業大学のホームページや大学案内パンフレットにおいて掲載されている情報は必要最低限のものになっている。今後こうした媒体において、必要に応じてより詳細な情報掲載を検討していく。

## 4. 根拠資料

- 2016年度新入生教職ガイダンス配付資料（資料1）
- 2016年度2年生教職ガイダンス配付資料（資料2）
- 芝浦工業大学ホームページ
- 芝浦工業大学 大学案内パンフレット 2016年度版

## (3) 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について

定期的に検証を行っているか。

### 1. 現状の説明

本学の教職課程は、文部科学省の課程認定を受けた教員から構成されている。教育課程の編成や実施方針について、教職課程教員5名と教職担当職員にて実施している定例の教職課程会議において検証を行っている。

## 2. 点検・評価

### ① 効果が上がっている事項

教職課程の現況に対する評価を公表するにあたっては、教職課程会議の検討内容をふまえて自己点検・評価報告書の作成を行っている。

### ② 改善すべき事項

教職課程教員と教職担当職員で行っている検証作業の客観性に、外部の意見を伺うことを計画している。

## 3. 将来に向けた発展方策

### ① 効果が上がっている事項

予定されている文部科学省の課程認定の報告を踏まえて、今後の変更には備えている。

### ② 改善すべき事項

今後、教育現場との関係構築により密接に取り組んでいく計画がある課程認定のカリキュラム変更に応じた議論を、教職課程会議において行っていく。

#### 4. 根拠資料

- 自己点検・評価報告書

### 教育課程、教育内容

#### (1) 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、

教育課程を体系的に編成しているか。

##### 評価の視点

- 必要な授業科目の開設状況
- 順次性のある授業科目の体系的配置
- (学士課程)専門教育・教養教育の位置づけ
- (修士・博士課程)コーチワークとリサーチワークのバランス

#### 1. 現状の説明

教職課程では、教職に関する科目を、1～4学年を通してバランスよく配当している。1年次には「教職論」と総合科目などに関する4科目、さらには選択の「教育の近現代史」「人間関係論」「生徒文化論」を配当し、教職課程を履修することの意義について十分な時間を取るよう配慮している。2年次には、教科指導法の授業を教科毎に2科目配当するとともに、「教育原論」「教育心理学」「道德教育の研究」「特別活動の研究」「教育方法・技術論」を配当し、教職としての専門的な教養と実践力を養うようにしている。3年次にはさらに教科指導法の授業を2科目配当するとともに、「教育課程論」「生徒・進路指導論」「教育相談論」「教育社会学」を配当した。また、3年次から4年次にかけて「事前・事後指導」を配当し、教育実習への参加がスムーズに行えるように配慮している。4年次には「教育実習」「教職実践演習」を配当し、これまでの取り組みの集大成とするとともに、さらに専門的な考察力と実践力を深めるよう促している。

#### 2. 点検・評価

##### ① 効果が上がっている事項

教職課程としてバランスのとれた科目配当とするとともに、専門科目の深まりと合わせて教職課程の学習も進行していくようにしている。こうしたカリキュラムの編成によって、各学科で学ぶ専門的な学習と、教職課程で学ぶ教育に関係した学習との結びつきについて考える機会を増やすことができると考えている。

##### ② 改善すべき事項

次年度 14 週 100 分授業実施により、従来 6 時限に実施していた教職に関する科目を 5 時限までに配当する必要性が生じている。こうした変更に伴う、各学年の授業の配当の変更について検討し改善していく。

#### 3. 将来に向けた発展方策

##### ① 効果が上がっている事項

入学時に教職課程のガイダンスを行い、履修上の注意と併せて、教職課程受講にあたって求められる心構えなどについて説明してきた。今後も、教職課程の教育体系を理解してもらうための取り組みを継続して行う計画をしている。

##### ② 改善すべき事項

これまでも各学年の授業の配当を変更してきたが、学生たちの履修状況などをふまえて、常に最適なカリキュラム編成としていきたい。また、教職課程のカリキュラムは、教育に対する社会的な要求の変化を受けて、改正されることがある。こうした点をふまえて新しい科目の開設について計画していくこととする。今後、文部科学省が示す教員養成教育のカリキュラム変更に応じて、適切なカリキュラム編成をすすめていくこととしたい。

#### 4. 根拠資料

- 2016年度 学修の手引

### 教育方法

#### (1) 教育方法および学習指導は適切か。

##### 評価の視点

- 教育目標の達成に向けた授業形態（講義演習実験等）の採用
- 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実
- 学生の主体的参加を促す授業方法
- （修士博士課程）研究指導計画に基づく研究指導学位論文作成指導
- （専門職学位課程）実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導

#### 1. 現状の説明

授業の実施面では、授業内容に関連づけられた小レポート、実験・実習の報告書の作成などを通して教員に必要な表現力を育成するとともに、能動的な学修への参加を促す討議やグループディスカッション、模擬授業などを取り入れることによって、プレゼンテーション能力の向上を図っている。

#### 2. 点検・評価

##### ① 効果が上がっている事項

教職課程においては、教育実習生の実践力の形成に力を入れてきた。教科指導法の授業内では、全ての学生が模擬授業を行うことができないため、実践的な教育機会において、その能力を養うことが十分行うことができない。そのため、本学では、事前指導の時間においても、模擬授業を行わせることによって、実際に授業を組み立てる企画力について学ばせている。また、事前指導では、外部講師として現場の教員を招き、大学の中だけでなく、外部から見ても必要な力量を形成するよう促している。さらに教育実習から戻ってきた後に行う事後指導では、報告書の作成を行い、他の教育課程履修者や教員とも経験を共有するとともに、その内容について点検を受けることとなっている。

##### ② 改善すべき事項

教職実践演習では、教育実習の経験について、グループによる検討と他グループでの合同の検討を通して、今後の教員として意識すべき課題を明らかにするよう取りまかせてきた。しかし、教育実習では得ることができない、教育現場で起きている日常の様々な事例について学ぶ機会が不足している。

#### 3. 将来に向けた発展方策

##### ① 効果が上がっている事項

学生たちに教育に関わる実践的な資質を身に付けてもらうことを目的として、外部講師の積極的な活用や、学校見学を行うことによって、通常の講義内容と現場における実践的な技術・知識とを結びつけていきたいと考えている。

## ② 改善すべき事項

事前・事後指導、教職実践演習などでは、併設中学校・高校や教育現場に関わる様々な機関との連携が十分行えていない。将来的には現場の課題を取り入れながら、学習をすすめていくことのできる体制を作っていきたい。上記のサポートをお願いする併設校や関係機関とは、上記に関する話し合いをすすめ、教育実習生や教職に就く卒業生の質保障に努めることを計画している。

## 4. 根拠資料

- 芝浦工業大学ホームページ内 シラバス検索システム システム理工学部教職
- SIT STATION 内 TALENT 教職カルテ内教育実習報告書

## (2) シラバスに基づいて授業が展開されているか。

### 評価の視点

- シラバスの作成と内容の充実
- 授業内容・方法とシラバスの整合性

### 1. 現状の説明

15週 90分授業のシラバスに、授業の目的を加え内容の充実を図った。また授業時間外課題（予習および復習を含む）を明示し、学生の主体的な学修の支援を行っている。次年度14週100分授業実施に向けたシラバス改訂を検討している。

### 2. 点検・評価

#### ① 効果が上がっている事項

最終週の試験のみの授業は是正されている。

#### ② 改善すべき事項

現職の中学・高等学校教員を含む非常勤講師に多くの科目の担当を依頼している現状から、シラバスの英語化完了に至っていない。

### 3. 将来に向けた発展方策

#### ① 効果が上がっている事項

本学作成のシラバスガイドを参考に、非常勤講師に対してシラバスの内容・形式について助言・点検できる体制確立を目指す。

#### ② 改善すべき事項

シラバスの英語化に向けて、専任教員と非常勤講師が連携をとりながら適宜改訂を進めていく。

## 4. 根拠資料

- 芝浦工業大学ホームページ内 シラバス検索システム システム理工学部教職

## (3) 成績評価と単位認定は適切に行われているか。

### 評価の視点

- 厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示）
- 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性
- 既修得単位認定の適切性

## 1. 現状の説明

教職課程として文部科学省の課程認定を受けた教員が評価を実施しており、成績判定の適切性は確保されている。各科目のシラバスにおいて、評価方法と評価基準が明示されている。

## 2. 点検・評価

### ① 効果が上がっている事項

シラバスに授業時間外課題を示すことで、単位制の趣旨に沿った学修時間の確保を促している。

### ② 改善すべき事項

授業の達成目標と評価方法との関係性について明示が十分ではない。

## 3. 将来に向けた発展方策

### ① 効果が上がっている事項

年度毎のシラバス改訂に対応させ、充実化を図っていく。

### ② 改善すべき事項

授業時間外課題をより詳細に明示し、各担当教員の意図を学生に伝えるようにする。

## 4. 根拠資料

- ・ 芝浦工業大学ホームページ内 シラバス検索システム システム理工学部教職

## (4) 教育成果について定期的な検証を行い、

その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。

### 評価の視点

- ・ 授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

## 1. 現状の説明

教職課程においては、先に示した教育目標を実現するための、教育の質については定期的に行われる教職課程会議において確認している。また、非常勤講師との交流会において授業内容や方法に関する情報交換を行い、相互の授業の質の向上に努めている。

## 2. 点検・評価

### ① 効果が上がっている事項

学部全体で行っている授業アンケートの結果において、教職課程科目に関する評価の多くが学部平均を上回っている。教職課程の現況について教員間で相互点検を行うよう取り組んでいる。

### ② 改善すべき事項

授業アンケートの質問項目は学部毎に異なっているため、教職課程全体としての成果を十分検証することができていない。教職課程独自のアンケートについて今後教職課程会議において検討を進めていく。

## 3. 将来に向けた発展方策

### ① 効果が上がっている事項

学部全体で行っている授業アンケートの結果から、各自の担当する授業が学生のニーズにこたえるものとなっているかについて確認している。今後も授業アンケートの結果に着目し、教育内容の充実を図っていきたい。

### ② 改善すべき事項

授業内容および方法の改善を図るため、各担当教員が外部機関において研究会や研修会に参加している。こうした場で得た知識や授業手法について、専任教員や非常勤講師間で共有する仕組みについて検討していきたい。

#### 4. 根拠資料

- ・ 芝浦工業大学ホームページ内 教員データベース 教育活動業績 授業アンケート

### 成果

#### (1) 教育目標に沿った成果が上がっているか。

##### 評価の視点

- ・ 学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用
- ・ 学生の自己評価、卒業後の評価(就職先の評価、卒業生評価)

#### 1. 現状の説明

教職課程においては、先に示した教育目標を実現するよう教職課程を編成し、教職志望者の育成に努めて来た。2015年度の卒業生のうち教職職員免許状を授与された学生は46名、教職志望者は22名いた。このうち20名が、中学校や高校の教員(非常勤も含む)となっている。また本学では、埼玉県、横浜市、堺市、大阪府、大阪市、京都府、京都市の中・高の教員に推薦枠をいただいている。教職志望者の支援として、キャリアサポート課による教員採用試験の対策講座など3年生から多くの講座を開講している。これらの講座によって、実際に教員として働くための心構えや、仕事の内容について知り、将来の進路選択の参考にするとともに、教員採用試験の準備をすすめるよう促している。

#### 2. 点検・評価

##### ① 効果が上がっている事項

本学において教職課程が工学部のみを設置されていた当時と比べて、教職課程の履修者と教員志望者が大幅に増加した。2016年度のシステム理工学部教育実習登録者は、42名となっており、現時点での教員希望者は確認できているだけで15名である。また、キャリアサポート課に教職カウンセラーを週に2日配置し、教職を目指す学生の相談に応じるようにしている。特に教員採用試験に向けて、3年の6月には「教員採用試験対策スタートガイダンス」を行い、後期からは教員採用試験の対策講座を開講している。4年の5月には私立中高教員の説明会と、教員採用試験の人物試験対策講座を行った。人物試験対策講座は6月以降も開催し、7月には模擬授業対策講座も行っている。大学推薦に関しては、システム理工学部では埼玉県の中学校・高等学校と京都市の中学校の教員に大学推薦を行った。

##### ② 改善すべき事項

5号館2階に教職コーナーを開設し、各自治体の教員採用試験情報、教職志望者のための各種のガイダンス、外部の説明会のお知らせなどを掲示している。また、教職に関する雑誌や各自治体の教員採用試験問題も備え付けて、学生たちが将来のキャリアに向けた学習ができる環境づくりをすすめている。しかし資料や関係する書籍が十分ではないため、書架等を設置し関係する書籍や資料の充実を図ることを計画している。

#### 3. 将来に向けた発展方策

##### ① 効果が上がっている事項

中等教育における理数系の教員養成機関に期待されている役割を受け止め、実際に現場で活躍できる教員を送り出していきたいと考えている。今後も、教員採用試験の対策を目的とした講座の点検を随時行い、学生のニーズに応じた取り組みをすすめていくようにしたい。教職課程の履修登録をしてから教員採用試験を受験するまで、学生の様子を総合的に把握できるようにするために、教職課程の整備をすすめていくこととしたい。また、進路に関してはキャリアサポート課と連携し、教職に関わる多くの



情報を掲示するとともに、採用試験のための対策や相談の機会を増やすようにしていくこととしたい。

## ② 改善すべき事項

2016年度はシステム理工学部が教職課程の認可を受けて7年目にあたる。システム理工学部を卒業した教員が徐々にではあるが増えてきている。今後は、教職課程の履修者が増えることを踏まえ、教職課程履修者による教職研究会や同窓会を組織して、在学生と卒業生が交流できる機会を設けていくこととしたい。

## 4. 根拠資料

- 卒業生全進路先 2015年度（2016年3月卒業生・修了生）
- 2017(H29)年度 教員採用試験『大学推薦』に関する公示（資料3）
- キャリアサポート課 2016年度教員採用試験対策講座一覧表（資料4）
- 2015年度卒業生 教職採用一覧（システム理工学部）（資料5）